

熊 事 研 会 報

第103号

平成 23 年 6 月 27 日

発行人 熊本県学校事務研究協議会

会長 宮本 和明

編集代表 研究部長 平木 雅万

〒869-4601 八代郡氷川町今 39

TEL0965(62)2525 FAX0965(62)4460

- ・ 会長挨拶
- ・ 理事会たより
- ・ 研究部たより
- ・ 役員紹介
- ・ 退任者からの
感想・メッセージ
- ・ 編集後記



「今年度もよろしく申し上げます」

熊本県学校事務研究協議会 会長 宮本和明

ご挨拶の前に、まずは、東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福と、被災地の一日も早い復興をご祈念申し上げたいと思います。今一人ひとりが、真剣に自分にできることは何かを考え、少しでも実践しようとしているのではないのでしょうか。私も自分自身に問い続けなければと思っています。

さて、6月10日の理事会で承認をいただき、引き続き熊本県事務研の会長をさせていただくことになりました、熊本市立五霊中学校の宮本です。今年新たに副会長をお引き受けいただいた荒玉地区の藏本理事、水芦地区の宇田津理事をはじめとした理事の皆様や、昨年度より引き続き引き受けていただいた、上田事務局長・平木研究部長、さらに事務局・研究部の皆様とともに、会員の皆様の声にしっかりと耳を傾けながら、今年度も熊本県事務研の目的達成に向けて、皆様の付託にお応えできるよう精一杯努力したいと思います。

昨年度は、県事務研究大会も皆様のご協力とご指導により、おおむね成功のうちに終えることができました。今年度は11月16日・17日に、昨年と同じ鶴屋ホールをメイン会場に開催する予定です。各地区研におかれましても発表準備等に大変かと思いますが、私たち役員も、活発な論議ができるような場になるよう、しっかりと準備していきたいと思っています。

また、昨年度中間発表いたしました研究部の取り組みも、今年度の7月27日から開催されます全事研鳥取大会において、「つなげよう！実践と協働の力」ー教育課程と学校事務を考えるーと題して、いよいよ発表となります。私たちの代表として、熊本の考え方と実践力を、しっかりと全国にお伝えしていただけるものと思います。

さらに、昨年度の第2回理事会に諮り、地区での話し合いをとおして論議いただきました、全国大会開催県として立候補する件につきましても、第3回理事会にて承認されました。その後、九州地区での話し合いを経て、平成27年度開催県として立候補することを全事研の理事会に正式にお伝えをしたところです。今後その体制作りから内容・規模など、熊本の実力に見合った形で決めていかなければなりません。また丁寧に会員の皆様の考え方をお聞きし、ご不安や疑問にもお応えしなければいけないと思っています。そのうえで開催の年には、熊本県事務研の総力で創り上げる大会にしたいと願っています。この件につきましても、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

熊本県事務研には、諸先輩が築いてこられた成果があります。今後も継承発展させることによって、それぞれの学校で、「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」が実践できるよう少しでもサポートできればと思います。至らぬことも多々あるかと思いますが、今後ともご指導・ご鞭撻、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

理事会たより

平成 23 年 6 月 10 日(金)

於：水前寺共済会館

平成 23 年度第 1 回理事会が 6 月 10 日(金)に開催され、平成 22 年度の事業報告等、下記の議案について協議されました。

記

1 平成 22 年度 事業報告並びに決算報告について

- ・ 監事より監査報告があり、事業報告、決算報告について原案通り承認され、「理事会案」として総会に諮ることを決定した。

2 平成 23 年度 役員選出について

- ・ 平成 22 年度会長選考委員から報告があり、新役員が理事会より選出された。
- ・ 事務局員については、本年度より新選出方法にて選出された。

3 平成 23 年度 事業計画並びに予算案について

- ・ 事業計画については、原案通り承認された。
- ・ 予算案については、再度検討を行い、第 2 回理事会に再提案する。

4 平成 23 年度 機関運営計画について

- ・ 理事会・事務局・研究部の運営及び活動計画について確認した。

5 第 37 回熊本県学校事務研究大会について

- ・ 研究部より、大会テーマ、全体研究会、分科会等について提案され、協議を行い確認した。
- ・ 全体研究会は、日渡教授を招聘し、研究部による全事研鳥取大会発表の報告を行う。
- ・ 本年度分科会担当地区は、鹿本・菊池・阿蘇・熊本・八代・人球・水芦・天草と確認した。
- ・ 事務局より、大会期日、会場、大会までのスケジュール等提案され、協議を行い確認した。

第 37 回熊本県学校事務研究大会

大会テーマ 変革の時代に対応する学校事務の創造

期 日 平成 23 年 11 月 16 日(水)～17 日(木)

会 場 鶴屋ホール、県民交流会館パレア

日 程 1 日目：開会行事、総会行事、全体研究会

2 日目：分科会

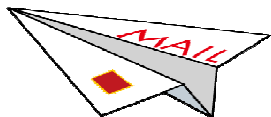
6 その他協議事項

- ・ 会則改正について、原案通り承認され、「理事会案」として総会に諮ることを確認した。

※ 詳しい議事録は、熊事研HPに掲載します。

※ 理事会終了後、熊事研旅費での全事研鳥取大会派遣希望者を各地区理事に聴取したところ、希望者が八代市立二見中学校 後藤義一さんのみであったので、後藤さんを派遣することを承認しました。大会参加後、レポートを提出いただき、会報に掲載します。

研究部だより



研究部では、現在、来る7月27日（水）～29日（金）に鳥取で行われる全事研大会の分科会発表に向けた研究を行っています。すでに、大会要項でご存じの方も多いと思いますが、レポートのテーマを「つなげよう！実践と協働の力」～教育課程と学校事務を考える～としました。

昨年から、研究部員の研究班6名を中心に研究に取り組んできました。ほとんどのメンバーが、当初、「教育課程」と聞いただけで「よくわからない」「事務職員にはあまり関係ない」という感覚でした。そこで、まず、メンバーの「教育課程」に対する認識（イメージ）を共有することから始めました。

昨年会員の皆様にもご協力いただき「教育課程」に関する意識調査を実施しましたが、「教育課程とは、何だと考えますか？」という質問に対して「学習内容」「教育計画」という回答が80%以上を占めました。研究メンバーも研究に入る前には、ほとんど同じイメージを持っていました。昨年度の県大会の全体発表でも少し触れていましたが、研究を深める中で、「教育課程」を『学校で行われている、目標を達成するためのすべての教育活動（直接的教育活動と間接的教育活動）』であると定義しました。授業を中心とする直接的教育活動は教員が中心となって行いますが、それを支えるための間接的教育活動が存在し、事務職員は間接的教育活動（教育管理＝経営過程）をマネジメントする役割を担うべきだと考えるようになりました。

しかし、これまで「教育課程」を意識して仕事をしてこなかった私たち事務職員には、直接的教育活動に関する知識が圧倒的に不足しています。そこで、これまで研究に協力していただいている日渡円氏（元五ヶ瀬町教育長・現兵庫教育大教授）や助言者の木岡一明氏（名城大学大学院 大学・学校づくり研究科科长）の勧めで実際に授業を見てみました。実際に授業を見てみると事務職員だから気づくこと、事務職員だからできることがあることに気づきました。私たちは授業で使われる様々なモノを購入していますが、それがどのように使われ、どんな効果があるのかについては、あまり気にしてきませんでした。ヒトやモノやカネをとおして教員とともに「よりよい授業」を創る実践を積み重ねることが重要だと考えました。

詳しくは、本年度の県大会で発表を行います。私たちが日常行っている仕事は、すべて「教育課程」と深く関わっています。まずは、校内研修に参加し、自分の学校の授業を見てみませんか。なにか気づくことがあるはずです。県大会での研究部の発表を参考に各地区でも、研究、実践を深め、広げていただければと願っています。

話は変わりますが、会員の皆さんの中にも「もしドラ」を読まれた方が結構いらっしゃるのではないかと思います。私も読んで、学校の「顧客」はだれか？「目標」は何か？ 考えていますがなかなかこれだという答えが見つかりません。私たちの研究とまんざら無関係ではないような気がしています。興味のある方は、是非ご一読下さい。

平成23年度役員紹介



◎理事

地区	氏名	学校名
会長 (熊本)	宮本 和明	五霊中学校
副会長 (荒尾玉名)	蔵本 聖治	築山小学校
副会長 (水俣芦北)	宇田津 典子	水俣第二中学校
鹿本	神保 英男	菊鹿中学校
菊池	大久保千代美	菊陽中学校

地区	氏名	学校名
阿蘇	古澤 修代	久木野中学校
上益城	木本 瑞枝	広安西小学校
熊本	坂門 芳文	若葉小学校
上益城	木本 瑞枝	広安西小学校
宇城	上村恵理子	海東小学校
八代	前田 和英	八代第四中学校
人吉球磨	尾方 康弘	久米小学校
天草	段下 和興	稜南中学校

◎事務局

		地区	氏名	学校名
事務局長		熊本	上田 千浩	藤園中学校
事	県北	菊池	坂園 寿枝	七城小学校
		菊池	鍋嶋 美紀	西合志中央小学校
務	県央	熊本市	北村 博之	楠中学校
		熊本市	岩下 紀子	城西小学校
局	県南	上益城	上野 尚子	蘇陽小学校
		宇城	中村 勝美	豊野小学校
員	情報調査	人吉球磨	北里 良徳	渡小学校
		宇城	松本 緑	松合小学校

☆旧役員☆

副会長	松本 和朗(熊本)
理事	永野 亜紀子(阿蘇)
	清藤 崇(鹿本)
	御船 秀信(宇城)
	林 峰雄(八代)
	守永 慶吾(人球)
	森 好史(天草)
事務局員	永山 千恵(上益城)
	片山 知美(人球)
	園川 祥子(人球)
研究部員	松川 千晶(荒玉)
	松田 裕之(熊本)
	中原るみ子(水芦)
	小手 彩香(天草)
監事	高村 直昭(荒玉)
	上田 治男(人球)

◎研究部

		地区	氏名	学校名
研究部長		八代	平木 雅万	氷川中学校
研 究 部 員	荒尾玉名	宮村 直子	玉陵中学校	
		鹿本	田代 隆博	広見小学校
		菊池	山下 久美	泗水東小学校
	阿蘇	佐藤 賢一	長陽小学校	
		熊本	田畑 知子	城西中学校
		上益城	内田 貴博	甲佐小学校
	宇城	氏原 美和子	不知火小学校	
		八代	池田 陽子	文政小学校
		人吉球磨	福永 高嗣	水上中学校
	水俣芦北	奥村 藍	内野小学校	
		天草	藤川 卓	龍ヶ岳小学校

◎監事

地区	氏名	学校名
鹿本		
八代		

お疲れさまでした！
大変お世話になりました。

～退任者からの感想・メッセージ～

事務局・研究部では各地区より今後も新メンバーを迎えていきますが、おそらく新たな活動に希望や期待を持たれる一方で、不安や戸惑いを感じて参加されることだと思います。今回、昨年度熊事研を支えていただいた事務局・研究部のメンバーから、退任されるにあたり活動を振り返っての感想・メッセージをいただきました。実際に携わられたメンバーの生の声をお届けすることで、会員の皆様に少しでも事務局・研究部の活動を身近に感じていただき、一層の関心を持っていただけたら・・・と思い、掲載させていただきます。

※ 感想・メッセージは・・・

- ①事務局員・研究部員の活動を振り返って思うこと。(今だから言える『大変だった～』ことや、『これからこんな事やってみたらどうかな～』など)
- ②これからのご自身の抱負(お仕事でもプライベートでも)

の内容で返答いただきました。

★ 事務局 ★

片山知美 (多良木町立多良木小学校)

- ①3年間の事務局員活動をとおり、県内外の事務職員の方々にたくさん学んだこと、交流できたことに感謝しています。大変だったことはたくさんありますが、皆さんに支えられて3年間を乗り越えることができました。お世話になりました。
- ②現在勤務している多良木小学校は、昨年度新校舎が完成し現在は外構工事の真っ最中です(10月に落成式予定)。2月にばたばたと引っ越し、まだ整理ができていけませんので、環境整備に力を入れたいと思っています。

園川 祥子 (山江村立山田小学校)

- ①1年目は、機関会議に出席する度に何が何だか訳が分からず、発言される方をテニスの試合のように首だけ動かして、ただ見ていました。そんな私でも、周囲の皆様のおかげで何とか3年間役員を続けられたことに、感謝しております。

また、日頃関わることのできない各地区の方と交流できたのは、大きな財産になりました。

「大変だったこと」は、人球地区から熊本市内が遠かったことです。出かけるのも1日かかりですし、回数も多かったので大変でした。

- ②現任校に赴任すると同時に事務局員になったため、学校を留守にすることも多々あり、学校にはご迷惑をおかけすることがありました。(事務室が一人体制のため)

今から、少しずつ取り返せるよう事務局で学んだ事を活かして頑張りたいです。

永山(八並) 千恵 (山都町立潤徳小学校)

- ①2年間、事務局員としてお世話になりました。1年目は本当に何もわからないままに過ぎてしまった、というのが正直なところです。2年目は事業を担当ということで、県大会が終わるまではとにかく必死でした。私自身は力不足で足りないところだらけでしたが、まわりの役員の方々のおかげで、なんとか無事に終えられて、皆さんに本当に感謝しています。毎年、懐かしい知人や同期に会えるのを楽しみに、何気なく参加していた県大会でしたが、こんなにもたくさんの方の労力と協力の上で成り立っていることを改めて感じ、今後一会員として参加する際には、もっと積極的にいろいろなことに協力していきたいと思っています。

忙しい2年間でしたが、様々な方とお知り合いになれたことと、いろいろな経験ができたことが、一番の宝ではないかと思えます。

②私事ですが、7月12日から産休に入ります。仕事を長期間休むのは不安もありますが、しばらくは仕事から離れた、新しい暮らしを楽しみたいです。初めての出産&子育て頑張ります！

★ 研究部 ★

松川 千晶 (玉名市立玉名中学校)

①事務局・研究部の方々のてきぱきとした仕事ぶり、密度の濃い話についていくのがやっとでしたが、エネルギー・元気・刺激を得、充実した時間を過ごさせていただいたことにたいへん感謝しています。1年という短い間でしたがお世話になりました。

②次から次へと湧きでる仕事！少しでも未知の分野を減らせるようにしていきたいものです…。

松田 裕之 (熊本市立京陵中学校)

①2年間研究部員として県事務研に係らせていただきました。今から思うと熊事研会報作成は原稿集めから校正、発行ととても苦勞したことを思い出します(もう書かなくていいと思うとホッとします)。この2年の間に紙媒体からホームページ掲載へと移行しましたが、その中でも第100号記念号作成に携われたことはとても思い出深いものです。

②今年度から思いもかけず？熊事研から離れて熊本市事務研の研究担当専任となりました。7月に行われる鳥取大会の研究発表には直接携わっていませんでしたが、途中で研究部から離れるのは少し寂しい気持ちがいたします。

今後は熊本市事務研あるいは共同実施体の中で、熊事研での経験を生かせる部分はしっかり生かして研究・研修に取り組んでいきたいと思えます。

小手 彩香 (上天草市立阿村中学校)

①研究部員として2年間熊本県学校事務研究協議会に携わせて頂きました。初めて会議に出席したときは、大御所の先生方ばかりかと思いきや、わりとアットホームな雰囲気に安心したことを覚えています。初年度は事務必携の作成や熊事研大会の運営にと、初めて体験することばかりで諸先輩方の緻密さや、柔軟な対応方法などとても学ぶことが多かったように思います。また、初任の頃のように新たな専門用語(?!)が飛び交い、毎度自分の不勉強ぶりを痛感することも多くありました。しかし、普段お会いすることの少ない他地区の先生方や、著名な講師の方々と直接お話する機会があるなど、とてもよい刺激を受けることが出来ました。

2年目になると、研究部員のメンバーも代わり、また新たな気持ちでスタートすることが出来ました。鳥取大会での発表に向けて、準備のための1年だったように思います。元来、目立つことが苦手な私ですが、熊事研大会の全体研究会での発表も、発表を聞いてくださる会員の皆さんがいらしたことは言うまでもありませんが、他の研究部の皆さんがいらっしやっただけで乗り越えられたと感謝しています。

ベテランの先生や実践を積み重ねられている先生方のお話をなかなか聞く機会がないのではないのでしょうか。特に他管内との交流があまり出来ていないように思います。事務局や研究部で培った人脈や知識を生かして、「その筋のスペシャリスト」との関わりや「地区研でこんな資料作ったよ」などの積極的な情報交換が出来る場所の提供を、今後の熊事研に望みたいと思えます。

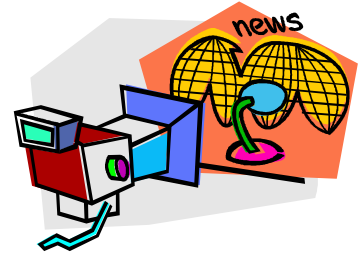
②7月に鳥取大会に行ってきます。今年度は分科会発表者として熊事研の研究部にお世話になっています。微力ですが、全国大会の雰囲気を感じて、今後のやる気につなげたいと思えます。また、地区研での発表を控えているので、今年は「人前に出ても落ち着いて発表できる根性」を培いたいと思っています。

(※水芦地区の中原さんは現在産休中のため、今回ご紹介できませんでした。)

メッセージにご協力いただいた皆様ありがとうございました。今後益々のご活躍をお祈りいたします。



編集後記



今回の会報に掲載されている昨年度の事務局・研究部の方々の感想・メッセージから伝わってきたものは大変さと前向きな姿勢です。今年度、県事務研の役員を初めて引き受けました。1年間がんばっていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

(熊本地区 田畑)

初回の会報発行が遅くなりまして申し訳ありません。

今年度は少し例年と趣向を変えた会報づくりを検討し、一部各地区の情報等の掲載も考えています。(共同実施体のお話など・・・) その他ご要望等がありましたら、下記アドレスへぜひご連絡ください。また、11月16・17日開催の研究大会へ向けての情報と全事研等県外の研究大会の情報等皆様に役立つ情報もお知らせしていきたいと思ひます。今年度もよろしくお願ひします。

(菊池地区 山下)

～ ご意見・ご要望等ぜひお聞かせ下さい。お待ちしております。～



jimukenws@edu-c.pref.kumamoto.jp